

## 1. 変更する都市計画の内容

### 【変更の概要】

交通結節点機能の強化及び安全性の向上を図るため、国府宮駅前広場の区域を変更するものです。

尾張都市計画道路3・5・459号奥田線（市決定）  
（国府宮駅前広場の区域の変更）

変更前の面積：約 2,300 m<sup>2</sup>



変更後の面積：約 3,200 m<sup>2</sup>



## 2. 上位計画の位置づけ

「稲沢市ステージアッププラン（稲沢市総合計画）」（本市の最上位計画）

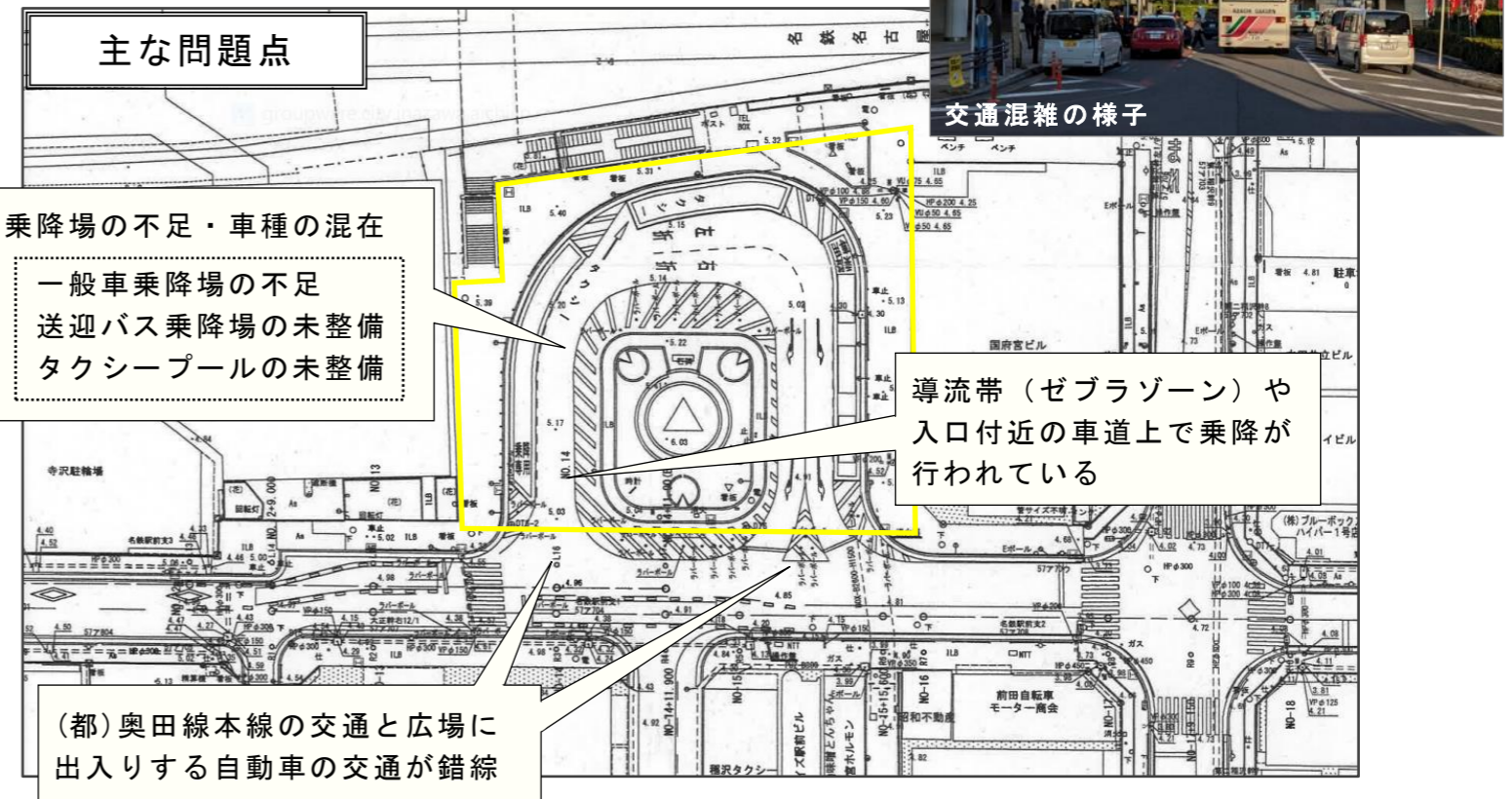
重点戦略である「攻め」と「守り」の定住促進を実現するための取組みの一つとして「名鉄国府宮駅周辺の再整備」を掲げています。

「稲沢市都市計画マスタープラン」（本市の都市計画の総合的な指針）

名鉄国府宮駅周辺を都市中心拠点に位置づけ、中心市街地が快適で便利な暮らしの場となるよう再開発などを進めると共に、周辺に立地する公共公益施設や商業施設といった都市機能のサービスを容易に享受できるよう公共交通結節機能を強化するため、名鉄国府宮駅西口の駅前広場を拡充する方針を定めています。

## 3. 現状の問題点

現在の国府宮駅前広場は、一般車の乗降場が不足しており、広場内外の車道上においても乗降が発生しています。また、企業バスやスクールバスの乗降場が指定されておらず、一般車と混在して乗降が行われているため、一層の交通混雑を招いています。また、駅前広場の出入口付近では、都市計画道路奥田線本線の交通と駅前広場に入出入りする自動車の交通が交錯することによる滞留が生じています。



## 4. 整備の基本方針

乗降場の拡充及び配置の適正化等により、交通結節点機能の強化及び安全性の向上を図ります。

### [歩道]

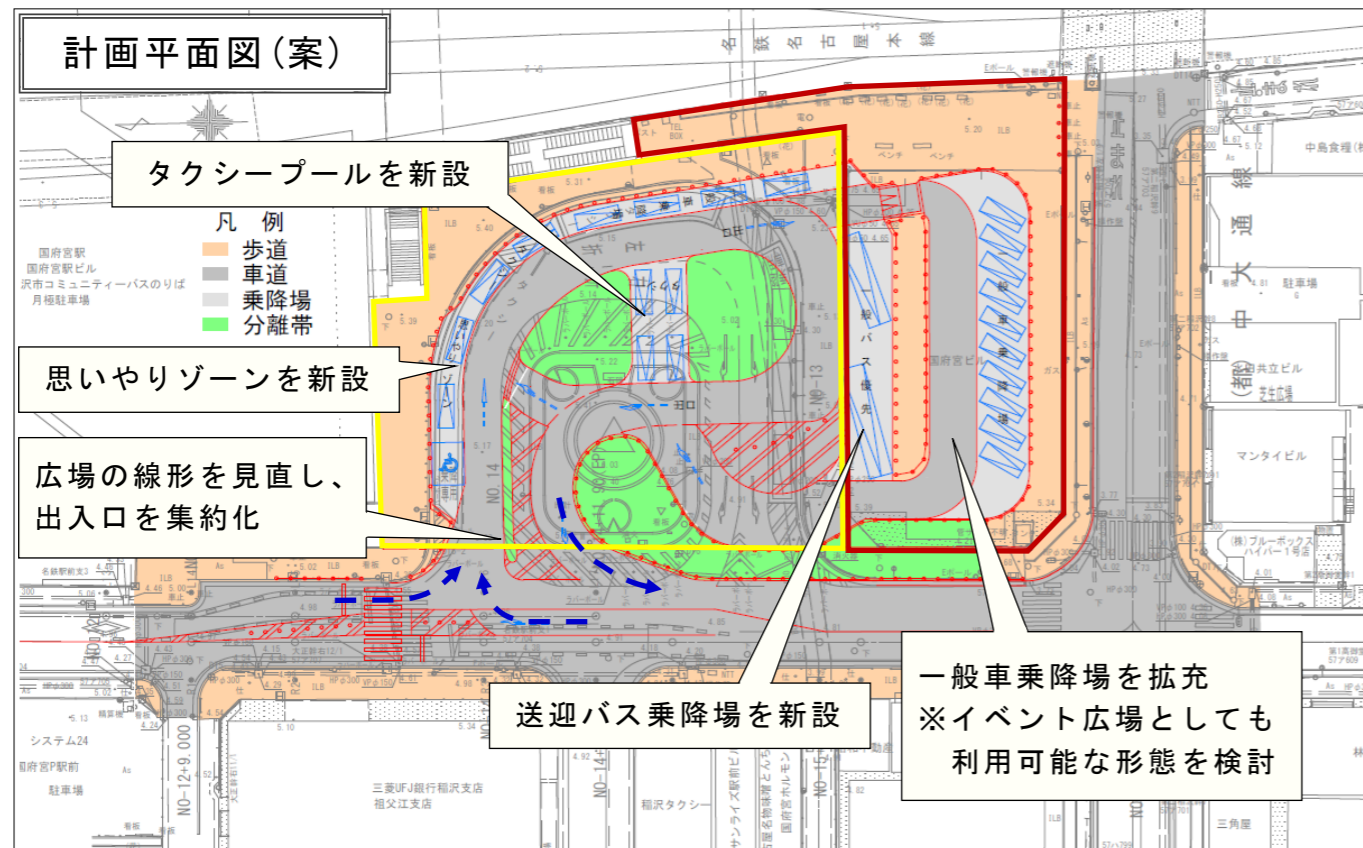
- ・高齢者、障害者、誰もが快適に利用できるよう、バリアフリーに配慮した移動空間を確保します。

### [車道]

- ・広場の線形は、送迎バス等の車両軌跡により決定し、出入口を集約化します。
- ・広場の入口付近は、車道上での乗降を抑制するよう配慮します。また、出入口周辺の自動車交通の滞留を抑制するため、広場への進入用の右折レーンを新設すると共に、広場からの退出を左折に限定します。

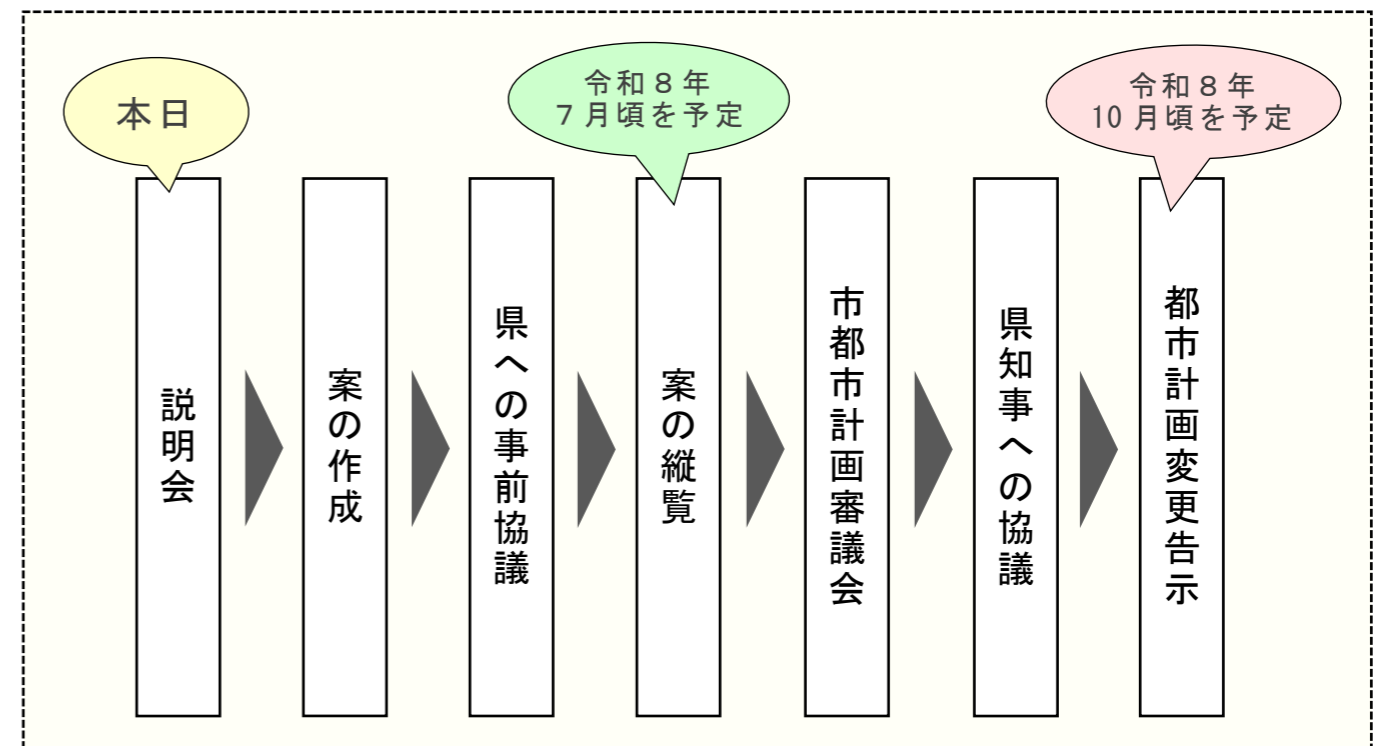
### [乗降場]

- ・一般車の乗降場を拡充すると共に、新たに送迎バスの乗降場を設置します。
- ・タクシーについては、現状と同程度の乗降場を確保した上で、新たに待機場(タクシープール)を設置します。
- ・駅改札口から近い位置に、「身体障害者乗降場」と「思いやりゾーン」を設置します。



※この平面図は現在検討中の案であり、確定したものではありません。

## 5. 今後の進め方(都市計画変更までの流れ)



【参考】整備後の西口駅前広場のイメージ(イベント開催時)



※市が独自に作成した構想段階のイメージであり、関係権利者や関係機関との協議等を経て確定したものではありません。

国府宮駅周辺再整備基本計画(令和8年3月)より